

宇都宮大学特定重点推進研究

連続シンポジウム

『バイオクラスターの形成と技術開発』

宇都宮大学特定重点推進研究 連続シンポジウム『バイオクラスターの形成と技術開発』を11、12月に3回開催しました。

シンポジウムは、第6回「栄養管理による鶏卵卵殻強度の改善」(座長-菅原邦生 農学部教授)、第7回「台湾産タナゴ類の調査研究からミヤコタナゴの生息環境の保全を考える」(座長-上田高嘉 教育学部教授)、第8回「竹利用の現状と可能性」(座長-小林幹夫 農学部教授)のテーマで開催されました。

3回のシンポジウムには、外部研究者・本学学生・教職員等合わせて145名の参加がありました。



【教育学部 上田高嘉教授のコメント】

タナゴ類(タナゴ亜科魚類)は東アジアを中心に世界に約60種・亜種が認められています。そのほとんどの種類は、私たちの身近な生活圏に生息しています。人間の生活の近代化によって生息地や個体数が著しく減少し、日本産タナゴ類の大半が絶滅危惧種に指定されています。国の天然記念物でタナゴ類の1種であるミヤコタナゴは、現在では千葉県・栃木県のごく一部に生息しているに過ぎません。地域住民の方々ほかの努力によって生息環境の保全への取り組みが進められていますが、その生息は危機的状況にあります。タナゴ類の生息はその地域の文化とも密接に関わっており、タナゴ類の生息環境の保全は地域の文化を守ることもあると考えます。ミヤコタナゴの起源と環境特性を解明することは環境保全策を講じる上で重要であります。台湾ではミヤコタナゴに近縁のヒマンテグスの生息が健全な状態で保たれているように見受けられ、ミヤコタナゴ生息地の保全の地域の自然に対する関心と知識を深め、保全意識を高めることが生息環境の保全につながると考え、今回、地域へ少しでも情報を発信できればと、シンポジウムという形でこれまでの私たちの研究成果を報告させていただきました。今後更に、台湾をはじめ近隣アジア諸国との共同研究を通して、互いの文化を尊重し共通の理解を深めながら、環境保全の在り方を探りたいと思っています。

科学実験講座「植物の不思議探検隊」



環境調節実験棟にて、科学実験講座「植物の不思議探検隊」が行われました。8、10、12月の計3回開講された講座では、夏から冬まで植物

の生長の季節性を継続して観察するとともに、植物の不思議な力を体験したりと、小学生から高校生までの参加者は植物科学への興味を深めました。

「遺伝子友の会」を開催しました

バイオサイエンス研究センターでは様々な学科、コースの教員、院生、学生が日々利用しております。学科、コースの単位を超えた研究室間の連携向上、情報交換の場として、各研究室がどのような研究活動を行っているか、3回にわたって当センターを利用している各研究室の代表者より発表して頂きました。昼休みを利用して食事をとりながらのスタイルで、本学学生・教職員等多数のご参加をいただきました。

お知らせ

★ゲノミクス研究棟利用者登録更新について (ゲノミクス解析部門・RI利用部門・動物部門)

平成21年度もゲノミクス研究棟を使用される方は3月中に登録更新をお願いします。

【学外の方】

管理室(028-649-5527)まで、登録更新希望の連絡を下さい。担当教員に確認の上、登録を更新します。

【学内の方】

C-BioのHPにある「利用登録申請」→「登録へ進む」から登録を変更して下さい。

《バイオサイエンス教育研究センター(C-Bio)HP》

<http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>

※修士課程に進学される方は4月に新しい学生証が発行され次第、登録更新して下さい。また、博士課程に進学される方は4月に宇都宮大学図書館カードが発行され次第、図書館カード番号で登録更新して下さい。カードの有効期間延長など、ご不明な点等ございましたら、管理室までお問い合わせください。

★DNA組換え実験申請のお願い

平成21年度の実験従事者の変更や新規に組換えDNA実験を行う方は、3月中に申請書の提出をお願いします。

平成20年度後半活動状況

シンポジウム・研究会

日付	時間	内容	人数
11/18 (火)	16:00-18:00	宇都宮大学特定重点推進研究連続シンポジウム 第八回 『竹利用の現状と可能性』	36名
12/15 (月)	16:00-18:00	宇都宮大学特定重点推進研究連続シンポジウム 第六回 『栄養管理による鶏卵卵殻強度の改善』	24名
12/18 (木)	16:10-17:20	公開セミナー「脊椎動物が季節を感知するしくみをさぐる」	36名
12/20 (土)	13:00-18:00	宇都宮大学特定重点推進研究連続シンポジウム 第七回 『台湾産タナゴ類の調査研究からミヤコタナゴの生息環境の保全を考える』	85名
1/30 (金)	16:00-18:00	第2回C-Bioセミナー 「植物の成長を制御する遺伝子とその機能」 「植物の鉄栄養輸送」	23名
2/23 (月)	15:00-17:00	第3回C-Bioセミナー 「植物の光応答の多様性と青色光受容体 クリプトクロムの核局在」	20名

講習会

日付	時間	内容	人数
10/22 (水)	12:15-12:45	第1回 遺伝子友の会 (植物病理学・分子遺伝学・森林資源利用学・生物工学・微生物工学)	28名
11/5 (水)	12:15-12:45	第2回 遺伝子友の会 (植物育種学・昆虫機能利用学・分子生理学・生物化学・家畜繁殖生理学)	20名
11/12 (水)	12:15-12:45	第3回 遺伝子友の会 (天然物有機化学・栄養機能学・育種繁殖学・応用昆虫学・植物応答機能解析部門)	26名

高校生向け講座

日付	時間	内容	人数
10/11 (土)、12/13 (土)	13:30-15:30	科学実験講座 「植物の不思議探検隊」	18名
11/10 (月)	13:00-15:00	宇都宮白楊高等学校 特別講義	40名
12/6 (土)	9:00-11:40	佐野日大高等学校スーパーサイエンスハイスクール (SSH)	15名
12/13 (土)	13:00-16:00	鹿沼東高等学校サイエンスパートナーシッププロジェクト (SPP)	15名
12/16 (火)	17:00-19:00		
12/20 (土)	13:00-16:00		
12/26 (金)-12/27 (土)	9:00-16:30		
12/18 (木)	9:30-11:30	埼玉県立浦和東高等学校 特別講義	18名
2/7 (土)	10:00-16:00	宇都宮高等学校サイエンスパートナーシッププロジェクト (SPP)	14名

施設見学

日付	時間	内容	人数
10/17 (金)	10:00-10:30	茨城県立下妻第二高等学校	27名
10/27 (月)	15:40-16:30	理科補助教員研修参加者	54名
10/28 (火)	14:00-14:30	茨城県立日立北高等学校	37名
10/29 (水)	14:00-14:30	岐阜県立加茂農林高等学校	2名
11/13 (木)	16:00-17:30	岐阜県高山西高等学校	1名
12/21 (日)	9:00-14:00	農学部オープンキャンパス	21名
2/10 (火)	14:30-15:00	国立大学協会 常務理事	1名
2/16 (月)	14:30-15:30	(株)環境公害分析センター	2名
3/11 (水)	14:00-14:30	モンゴル国立農業大学	3名

学生実験

日付	時間	内容	人数
10/10,17,23,24,30,31	12:50-16:00	応用生物学コース 3年	26名
11/26,27,12/2,3,9,10	12:50-16:00	応用生物学コース 2年	27名
1/22,26,29	12:50-16:00	植物生産学コース 2年	32名

新規導入およびデモ機器説明会

日付	時間	内容	人数
12/25 (木)	12:15-12:45	特別セミナー (Lasergeneの使い方)	11名

宇都宮大学バイオサイエンス教育研究センター

Center for Bioscience Research & Education, Utsunomiya University

〒321-8505 宇都宮市峰町350 Mine-machi 350, Utsunomiya 321-8505, JAPAN

TEL:028-649-5527 FAX:028-649-8651

<http://c-bio.mine.utsunomiya-u.ac.jp/>